

研究タイトル：

複素多様体における標準的幾何構造の研究



氏名：	中村 聡 / NAKAMURA Satoshi	E-mail：	satonakamura@numazu-ct.ac.jp
職名：	助教	学位：	博士(理学)
所属学会・協会：	日本数学会		
キーワード：	複素幾何学, 微分幾何学, ケーラー・アインシュタイン計量, 正則不変量, エネルギー汎関数		
技術相談 提供可能技術：	数学における様々な分野を横断している研究ですので, 分野にとらわれない数学の議論ができればと考えております。		

研究内容：

研究領域は幾何学です。より詳しく、複素微分幾何学という学問領域に属します。私の研究の雰囲気をざっくり標語的に述べると、「代数学の文脈で出てくる図形・空間において、その解析学あるいは幾何学的な性質と代数学的な性質とを結びつける」というものです。

図形・空間の解析的あるいは幾何学的性質というのは、空間上で定義された偏微分方程式が解を持つかどうかということです。もし解があるなら、その空間は“美しい形である”という幾何学的な性質が従います。ここで“美しさ”というのは非常に主観的な言い方ですが、例えば、“グチャグチャに折れ曲がった線よりも直線の方が美しい”とか、“デコボコの球よりもまん丸な球の方が美しい”という感覚です。もちろん数学的な定義(曲率が一定)がありますが、割愛します。

従って、上述した研究の雰囲気は「幾何学を舞台に、解析学の事柄を代数学の事柄で特徴づける」と言い換えられます。この研究領域に関わっていると、様々な学問分野が交差し調和の取れた世界が広がっており、数学を分野で分けるのはナンセンスであると我々に訴えかけている点が面白いと感じています。

最後に、本研究領域のキーワードをいくつか述べると、「Calabi 予想」、「小林-Hitchin 予想」、「Yau-Tian-Donaldson 予想」などです。

提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)	